

ふちゅう歴史散歩 Vol.159

唐菓子 (とうからがし) 平安時代のお菓子



体験者が作った色々な形の唐菓子



柔らかい生地で苦労している形作りの様子



再現した唐菓子 (揚げる前) (製作：府中市教育委員会)

唐菓子というお菓子を知っていますか。奈良時代に遣唐使が中国から持ち帰ったとされたものです。唐菓子は、米粉や小麦粉などに塩やツタの樹液を煮詰めた甘味料である甘藷(あますら)を入れ、油で揚げたものです。当時、砂糖はなく、甘いお菓子は貴重なもので、平安貴族に好まれたようです。

小・中学生対象の古代体験教室で唐菓子を実際に作ってみました。生地が柔らかく形作るのは大変でした。江戸時代に書かれた『集古図』を参考にさまざまな形を作り、低温の油で揚げました。試食したところ「香ばしくて堅い感じ。かりんとうに似ている。」「甘いのかと思っていただけど、ヘルシーなクッキーみたい。」という感想でした。

現在、放映中の大河ドラマで、紫式部が唐菓子を食べている場面がありました。平安貴族や備後国府の国司も食べたことでしょう。

—市民レポーターが府中の魅力を投稿します—

ふちゅう Sai 発見!

高校生編 その116

「遠足」

令和6年度、府中東高校にも期待と不安を胸に新入生が入学してきました。4月25日(木)の遠足では、1年生はみろくの里、2年生は倉敷美観地区、3年生は鷲羽山ハイランドへ行きました。



投稿者(文と写真)
府中東高校3年生



左から
大竹 紗椰
溝辺 さや
佐野 鈴
金本 さくら

遠足を通じて、クラスメイトと親睦を深めることができました。また、自由時間を自分たちで考えて過ごす中で、規則やマナーの大切さも学ぶことができました。この経験を今後の学校生活に活かし、充実した楽しい日々をしていきます。



公式SNS



LINE



Facebook



Instagram



メール



府中市メール配信サービス



スマホアプリ My府中



iPhone



Android